サカタインクス株式会社

2023年12月期　決算説明会資料

資料公表日　　：2024年3月4日
説明会開催日　：2024年3月5日

目次

1.2023年12月期実績

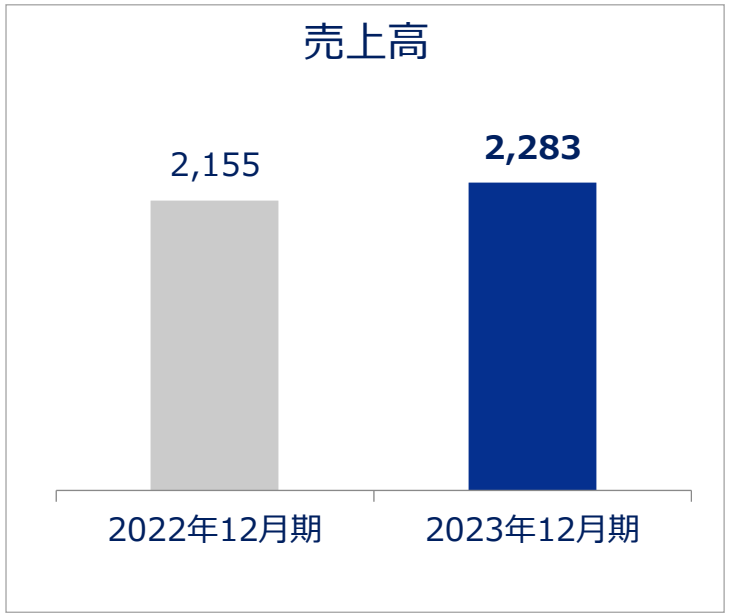
2.2024年12月期予想

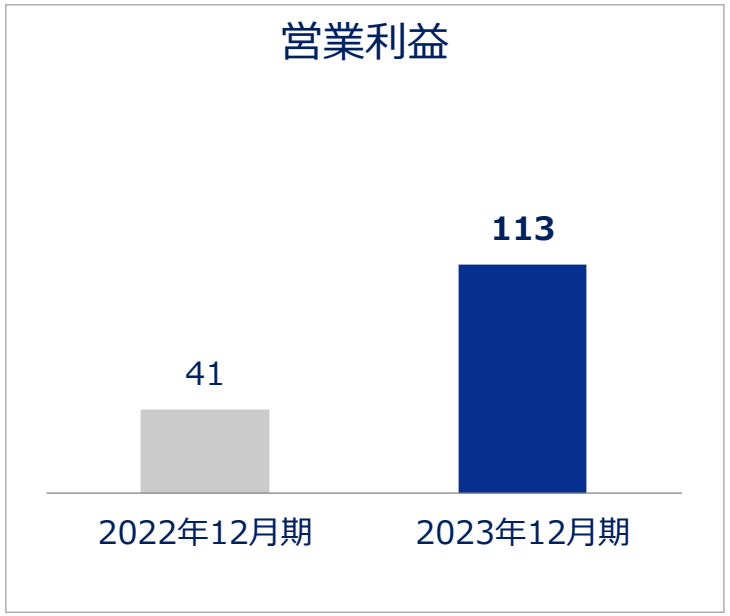
本資料に記載されている将来の計画数値、種々の施策は2024年3月4日現在で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものでございますが、今後の経済情勢、事業環境等により変化することもあり、計画数値、種々の施策を確約したり、保証するものではありません。
また、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

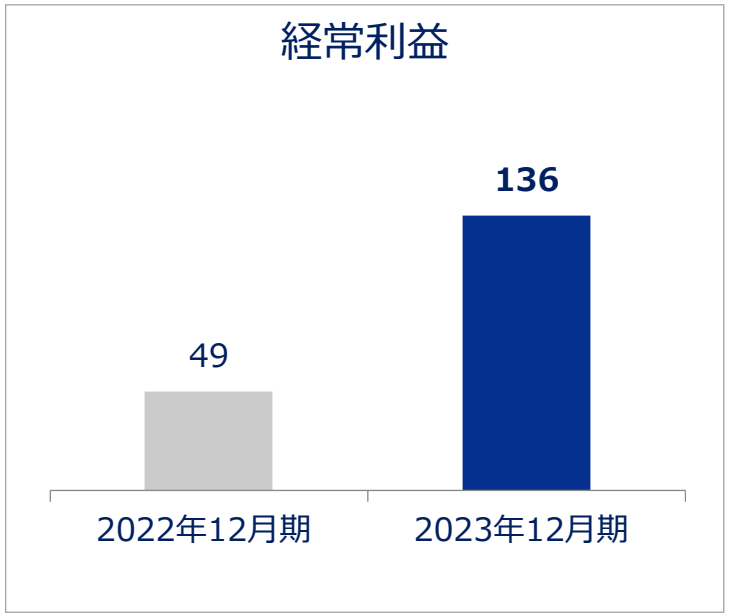
1. 2023年12月期 実績

2023年12月期　連結実績

（単位：億円）





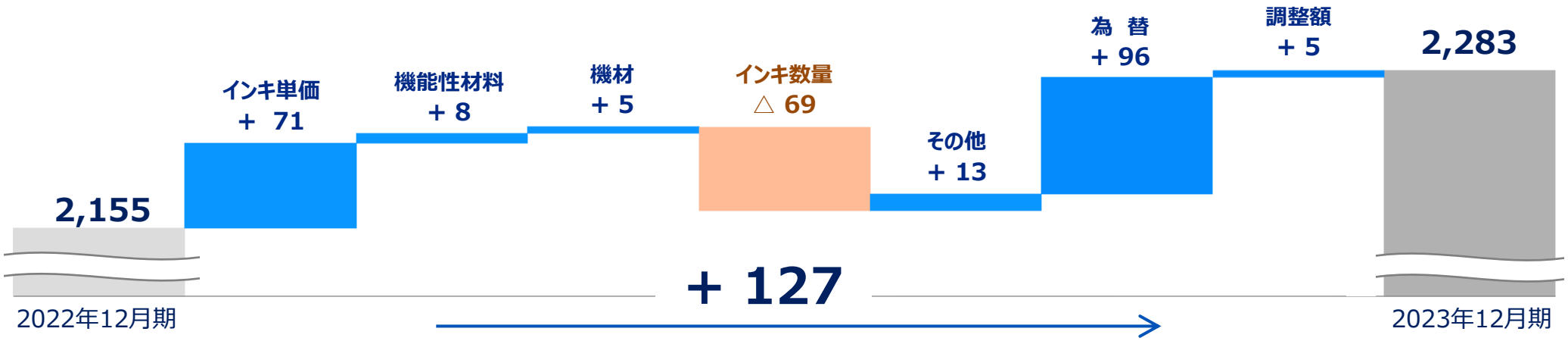


（単位：億円）

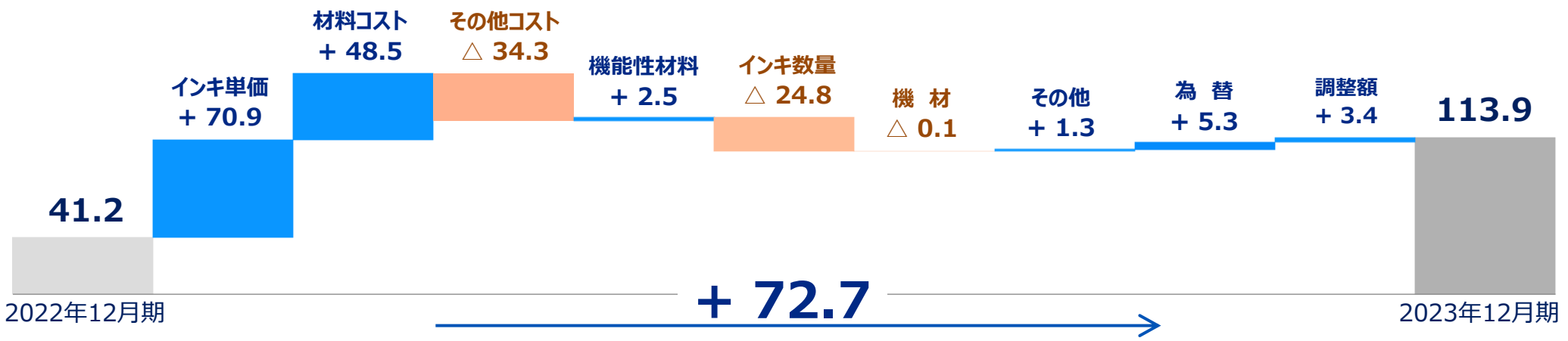
	2022年12月期		2023年12月期					
	金　額	売上高比率（%）	金　額	売上高比率（%）	増減額	前期比（%）	為替換算影響額	為替影響排除後増減率（%）
売上高	2,155	–	**2,283**	–	127	5.9	95	1.5
営業利益	41	1.9	**113**	5.0	72	176.3	5	163.4
経常利益	49	2.3	**136**	6.0	86	174.8	5	163.9
親会社株主に帰属する当期純利益	45	2.1	**74**	3.3	29	63.9	3	57.0
期中レート（USドル）	131.43 円		**140.56円**					

要因別増減　（前期比）

売上高　（億円）

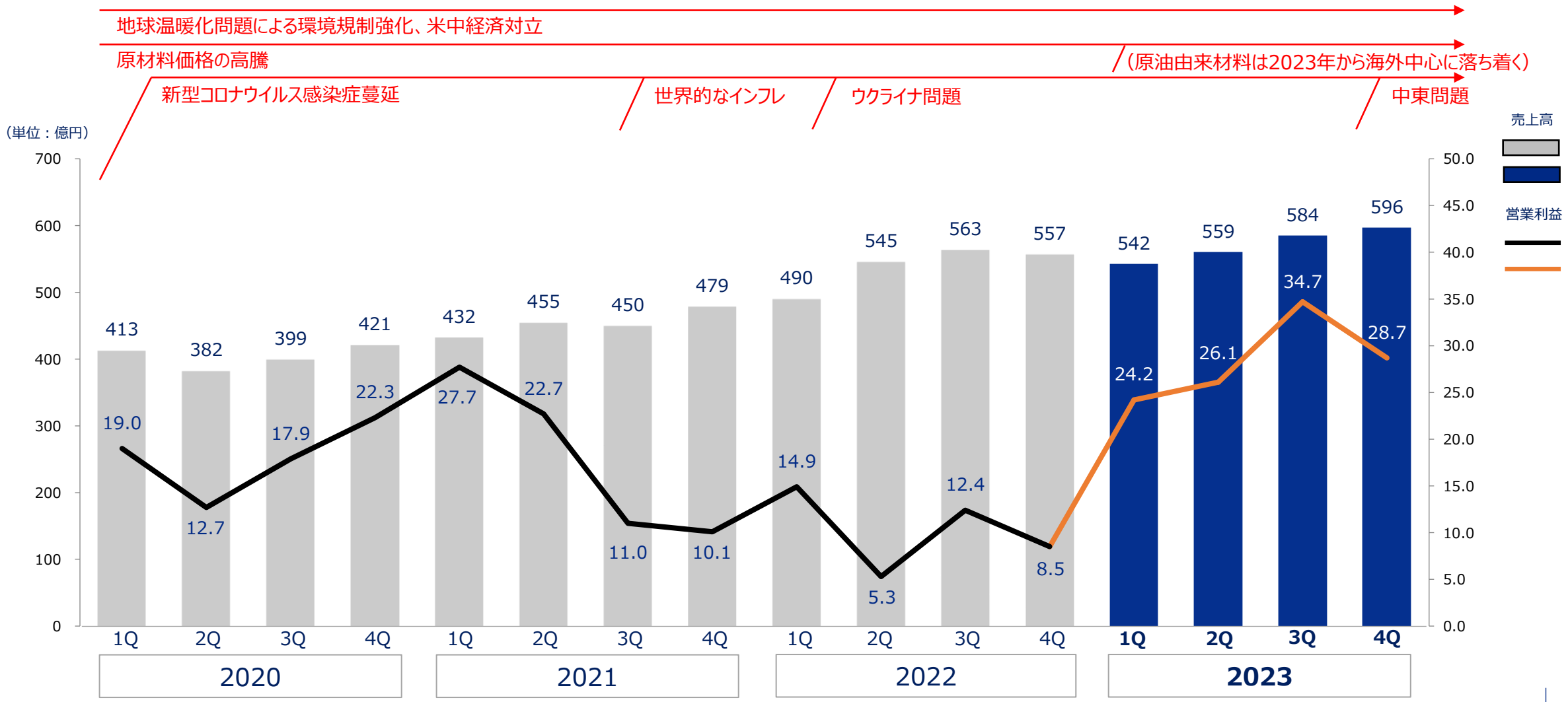


営業利益　（億円）



四半期別　実績推移　（売上高・営業利益）

不安定な世界情勢と資源価格高騰により、2022年まで材料コストや経費の上昇が続いていたが、
2023年は海外で材料価格が落ち着き、また、さまざまなコスト削減、価格改定を推進したことにより、営業利益が増加



コスト上昇と利益改善

コスト上昇と改善策

コスト上昇

- 材料コスト
- 物流コスト
- 人件費
- ユーティリティコスト

アジア・米州を中心に原油由来の材料価格は落ち着いているが、
物流やユーティリティコストは高止まり、人件費は高騰している

コスト改善策

- 価格改定
- 拠点の統廃合・再編
- 生産設備合理化
- 他社との協業

各セグメントにおいて価格改定の効果が大きく営業利益に寄与
日本や欧州では生産・販売体制の再構築などを進めている

価格改定とコスト上昇分の差額推移

（単位：億円）

	2021	2022	2023	2021年からの合計
日　本	△0	△9	+5	**△5**
アジア	△10	△10	+18	**△2**
米　州	△24	△10	+56	**+22**
欧　州	△21	△7	+6	**△22**
合　計	**△56**	**△36**	**+85**	**△7**

2023年は各セグメントで利益改善が進展した。継続してコスト低減と価格改定による利益改善に取り組む

セグメント別 実績　（売上高・営業利益）

（単位：億円）

	売上高			営業利益			営業利益率
	2022年12月期	**2023年12月期**	前期比 (%)	2022年12月期	**2023年12月期**	前期比 (%)	**2023年12月期 (%)**
印刷インキ・機材（日本）	514	**521**	1.3	4	**5**	31.0	1.0
印刷インキ（アジア）	480	**524**	9.1	17	**43**	149.0	8.3
印刷インキ（米州）	738	**785**	6.3	3	**43**	12倍	5.5
印刷インキ（欧州）	194	**195**	0.4	△5	**△7**	–	–
機能性材料	155	**168**	8.6	15	**18**	18.8	11.2
報告セグメント計	2,083	**2,194**	5.3	35	**103**	192.3	4.7
その他	140	**153**	8.9	3	**4**	37.9	3.0
調整額	△68	**△64**	–	2	**6**	–	–
合計	2,155	**2,283**	5.9	41	**113**	176.3	5.0

セグメント別　売上高構成比

（単位：%）

※調整後消去前

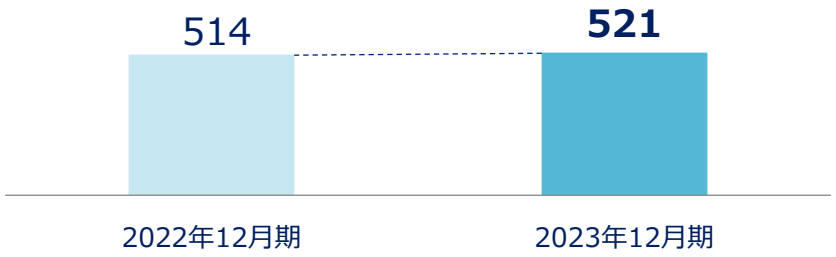
- 価格改定や原材料の安定化が進み、増収増益
- アジアや南米では販売数量の拡大も貢献
- 機能性材料もインクジェットや顔料分散液が販売好調

印刷インキ・機材（日本）セグメント　実績

売上高

+1.3%

（単位：億円）

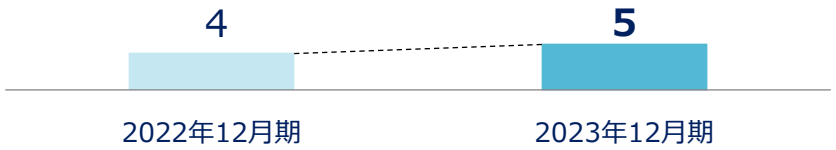


2023年12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売　上　高	128	129	125	137
前期比(%)	+6.9	△0.1	△3.0	+1.8

営業利益

+31.0%

（単位：億円）



2023年12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
営 業 利 益	0	0	2	2
前期比(%)	△44.4	△2.7	+14.1	+225.0

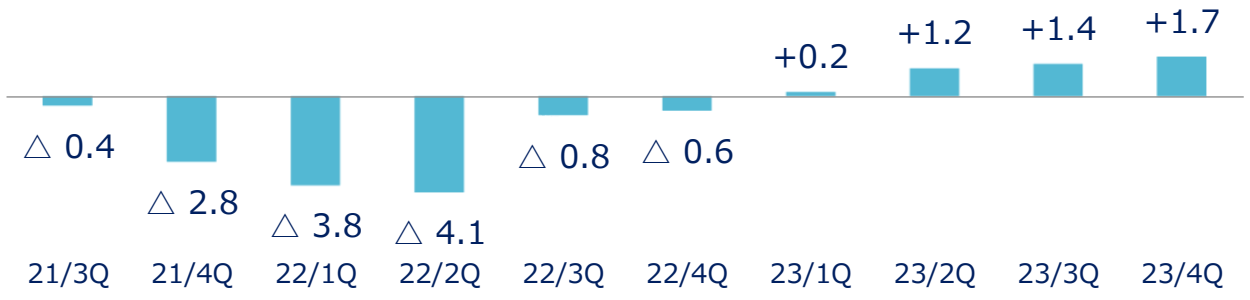
販売品目　パッケージ用、情報メディア用、印刷関連機材

売上高　食品や飲料、日用品の度重なる値上げによる消費者の買い控えの影響を受け、パッケージ用の販売数量が減少。情報メディア向けはデジタル化影響により下落傾向が続く

営業利益　価格改定交渉が進展し、利益改善が進んだ

価格改定効果（単価改定額－コスト上昇分）

（単位：億円）



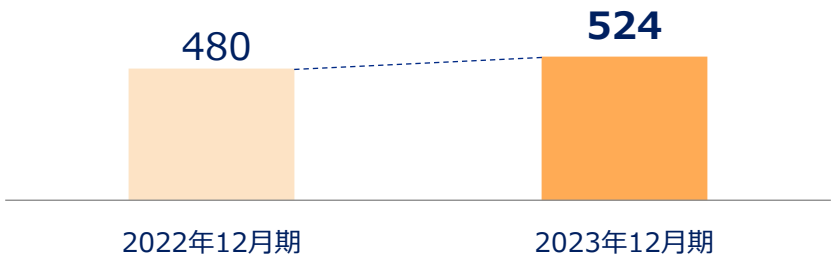
事業構造改革に向けた取り組み

・羽生工場におけるオフセットインキ生産設備廃却
・生産の効率化（生産品目の統廃合、生産拠点の見直し）
・支店営業所の統廃合
・重点強化事業への人員の再配置
・同業他社との協業（生産、物流）　など

印刷インキ（アジア）セグメント　実績

売上高　+9.1%

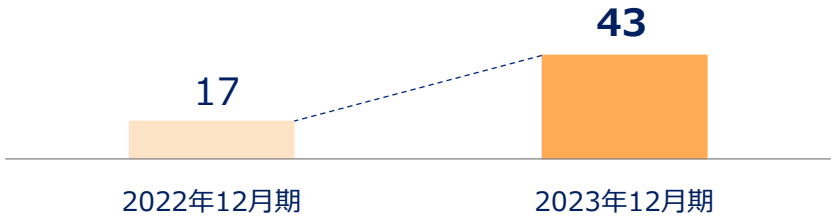
（単位：億円）



2023年12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売　上　高	117	123	139	144
前期比(%)	+11.3	+5.8	+7.0	+12.5

営業利益　+149.0%

（単位：億円）



2023年12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
営 業 利 益	7	8	13	14
前期比(%)	+83.0	+871.8	+177.1	+86.5

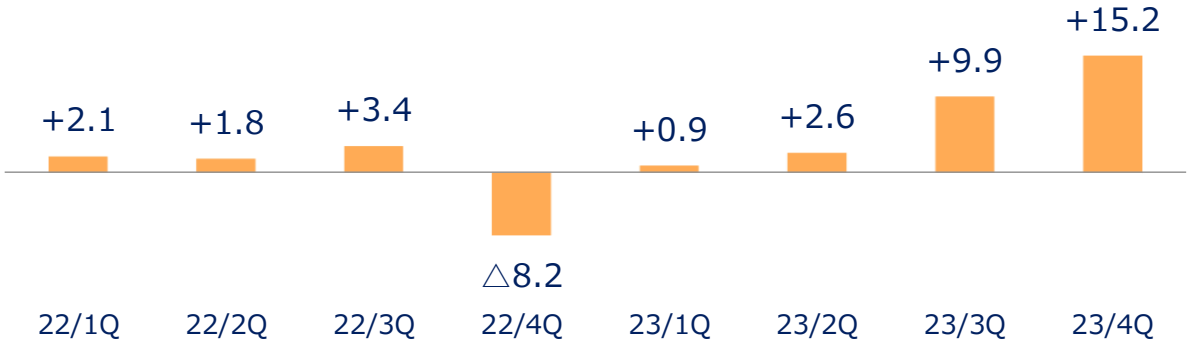
販売品目　パッケージ用 (各国)、情報メディア用(インド・中国など一部)、メタル（中国、ベトナムなど一部）

売上高　南アジア、東南アジアの多くの地域で、経済活動活発化の影響と拡販によりパッケージ用好調
価格改定は一巡。中国は景気低迷の影響を受け前年並み

営業利益　原材料が大きく安定化したことでコスト改善。販売数量の増加も貢献し、大幅に増益

パッケージ用の販売数量増減（前年同期比）

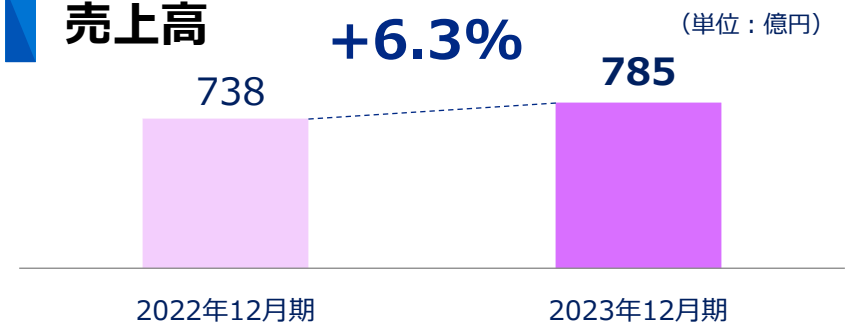
（単位：%）



地域	数量（前年比）	概況
インド	+3.5	パッケージ用は前年に落ち込んでいたものの、環境配慮型タイプの拡販で販売増加 前年に設備投資したUVオフセットインキも拡販が進む。新聞はやや低調
インドネシア	+8.8	インドネシア経済の好調を受け、パッケージ用の需要増と拡販が進む ボタニカルインキやガスバリア剤などサステナブル製品の強化を進めている
ベトナム	+2.4	上期はアメリカ市場の消費低迷の影響を受けて、パッケージ用が低迷 下期は顧客製品の内需用、輸出向けともに回復し、パッケージ用が伸びる
タイ	+15.1	タイ経済の好調の影響と、大手得意先への拡販が進み、パッケージ用が大幅増

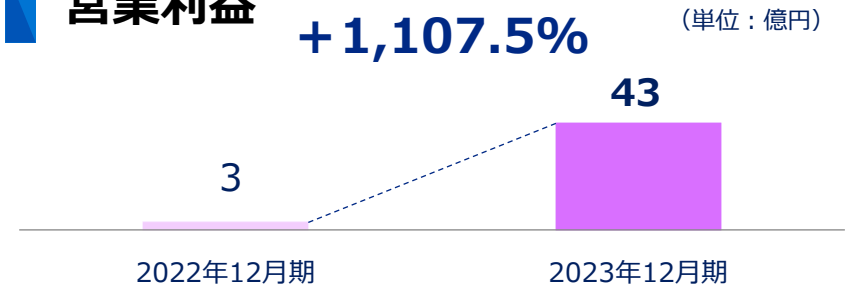
印刷インキ（米州）セグメント　実績

売上高



2023年12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売　上　高	186	195	204	199
前期比(%)	+14.5	+1.5	+2.4	+8.0

営業利益



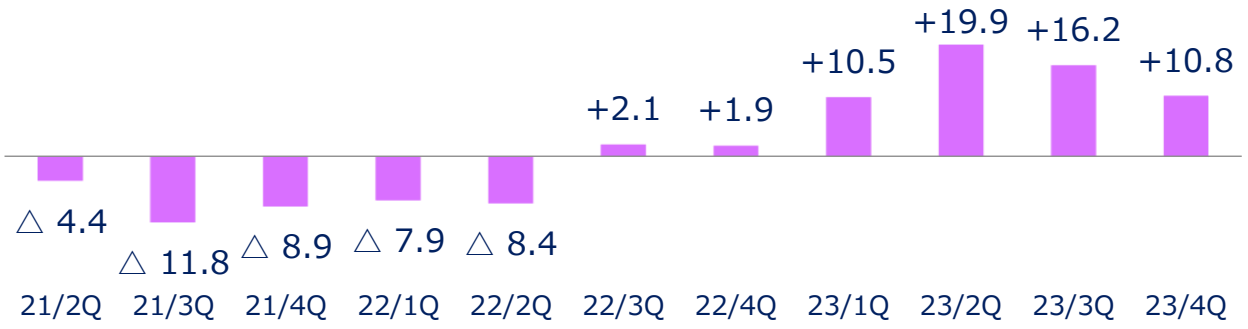
2023年12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
営 業 利 益	10	12	12	7
前期比(%)	+92.0	+973.3	+750.3	–

販売品目　パッケージ用 (各国)、情報メディア用(北米)、メタル（各国）

売上高　アメリカでの消費低迷の影響を受け、販売数量が低調。価格改定と円安の効果により増収

営業利益　原材料価格の安定化と価格改定効果が大きく寄与し、大幅に増益

北米の価格改定効果（単価改定額－コスト上昇分）

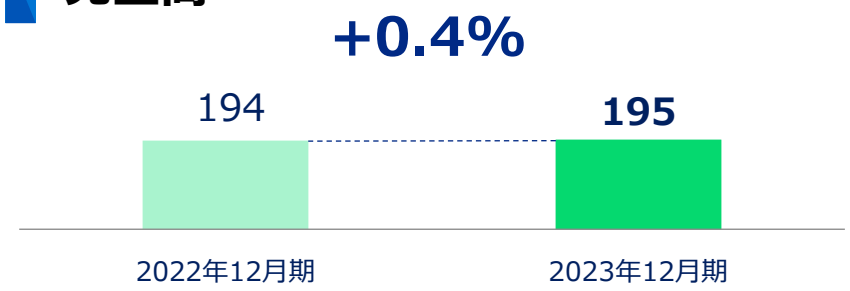


地域	数量（前年比）	概況
北米	△9.1	パッケージ用、メタルともに一昨年末からのアメリカ経済における消費低迷の影響を受け、販売低調。徐々に回復しつつある
ブラジル	+4.8	パッケージ用、メタルともにブラジルでおよび周辺地域への拡販により、順調に販売拡大 コロンビアの支店に製造設備を設け、南米の北西部地域の販売強化

印刷インキ（欧州）セグメント　実績

売上高

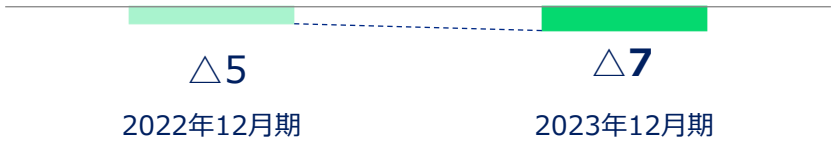
（単位：億円）



2023年12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売　上　高	46	48	51	48
前期比(%)	+6.9	△2.7	+3.1	△4.9

営業利益

（単位：億円）



2023年12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
営 業 利 益	△1	△2	△1	△2
前期比(%)	-	-	-	-

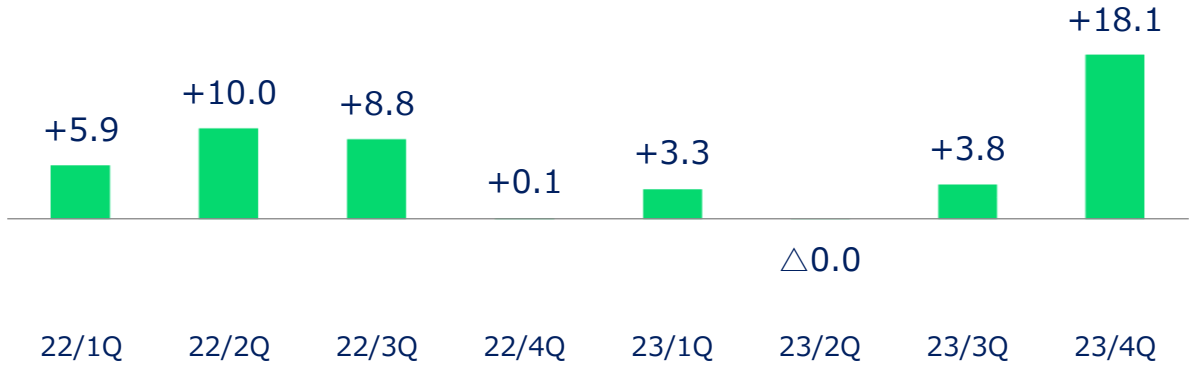
販売品目　パッケージ用 (各国)、情報メディア用(スペイン）、メタル（UK、スペイン）、パッケージ特殊用途（ドイツ）

売上高　欧州経済の低迷の影響とロシア向け販売消失するも、パッケージ用で拡販し、前年並み

営業利益　価格改定効果が表れてきつつも、全体の販売数量が低迷したことで、営業損失

スペイン パッケージ用の販売数量増減（前年同期比）

（単位：%）

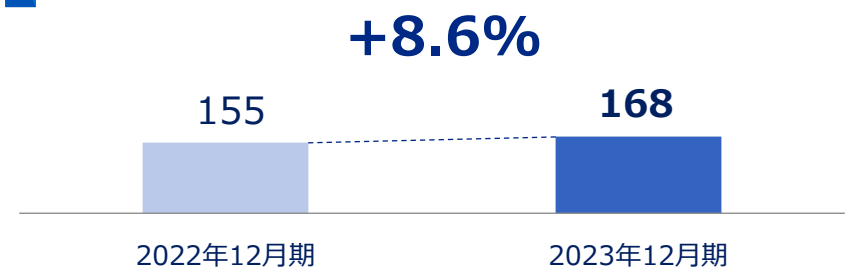


地域	数量（前年比）	概況
UK（メタル）	△11.6	ロシア向けの販売が一昨年後半からなくなったことで、主力のメタルインキの販売が大きく減少。欧州経済全体の不振も影響を受け販売低調
スペイン	+6.0	環境規制に厳しい欧州地域において、高性能かつ環境配慮型のパッケージ用インキの拡販により販売が好調

機能性材料セグメント　実績

売上高

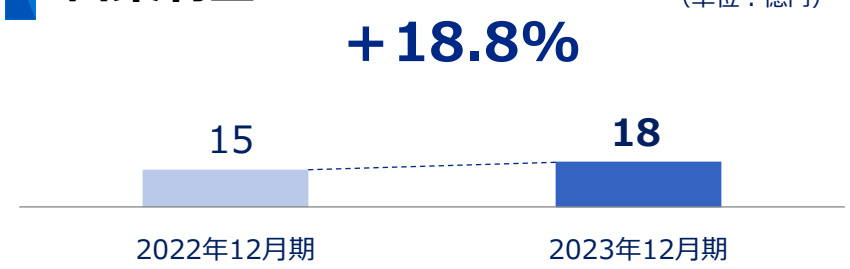
（単位：億円）



2023年12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売　上　高	41	40	41	44
前期比(%)	+11.3	△0.4	+14.0	+10.1

営業利益

（単位：億円）



2023年12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
営 業 利 益	5	4	4	4
前期比(%)	+21.6	+8.4	+33.3	+14.9

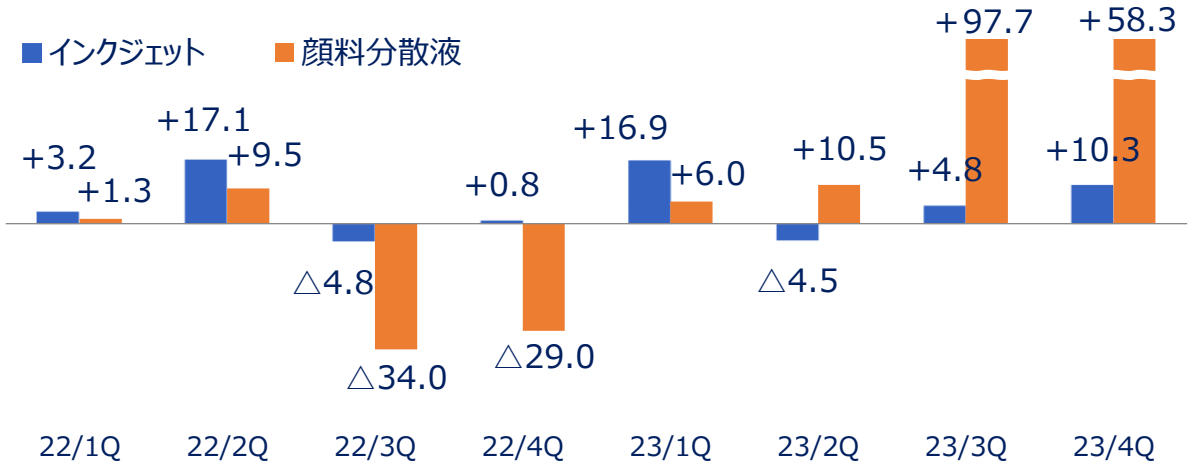
販売品目　産業用インクジェットインキ、カラーフィルタ用顔料分散液、カラートナー

売上高　日本と米州でのインクジェットインキの販売が好調
ディスプレイ関連材料（顔料分散液）も液晶パネル市況の好況を受け、販売が進む

営業利益　インクジェットインキ、ディスプレイ関連材料（顔料分散液）の販売増加により増益

インクジェット、顔料分散液の販売数量増減（前年同期比）

（単位：%）



品種	数量（前年比）	概況
インクジェット	+6.3	日本とアメリカでの拡販が進む
顔料分散液	+37.6	3Qまで液晶パネル市況の需要好調。4Qから生産調整に入りやや落ち着く

連結貸借対照表の主な増減・連結キャッシュフロー計算書

◆連結貸借対照表の主な増減

（単位：億円）

科目	2022年 12月31日現在	**2023年** 12月31日現在	増減
現金・預金	121	**170**	48
売上債権	538	**593**	55
流動資産	1,011	**1,105**	94
固定資産	762	835	72
資産合計	1,774	**1,940**	166
仕入債務	374	**396**	21
短期借入金	130	**117**	△12
流動負債	591	**618**	26
長期借入金	112	**112**	0
固定負債	253	**266**	13
負債合計	844	**884**	39
自己資本 ※	862	**987**	125
非支配株主持分	66	**68**	1
純資産合計	929	**1,056**	126
負債・純資産合計	1,774	**1,940**	166
期末レート（USドル）	132.70円	141.83円	–

有利子負債

2022年12月末	278億円
2023年12月末	**264億円**

自己資本比率

2022年12月末	48.6%
2023年12月末	**50.9%**

※ 自己資本

＝株主資本合計＋その他の包括利益累計額合計

◆連結キャッシュフロー計算書

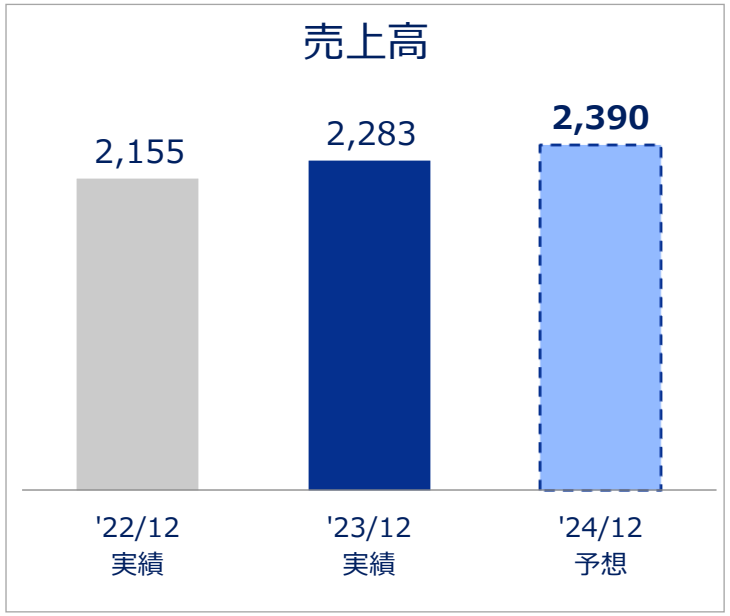
（単位：億円）

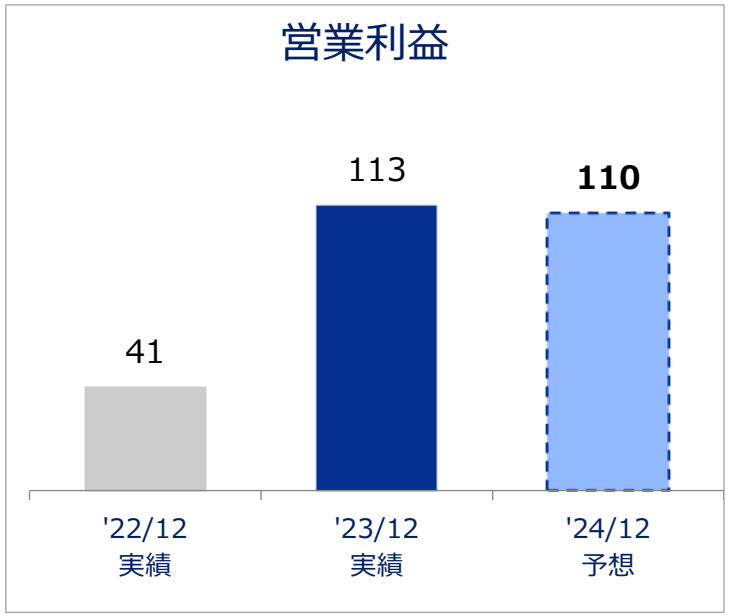
科目	2022年12月期 （2022.1.1~12.31）	**2023年12月期** （2023.1.1~12.31）
営業活動によるキャッシュ・フロー	49	**153**
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16	**△75**
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38	**△42**
現金及び現金同等物の期末残高	117	**162**

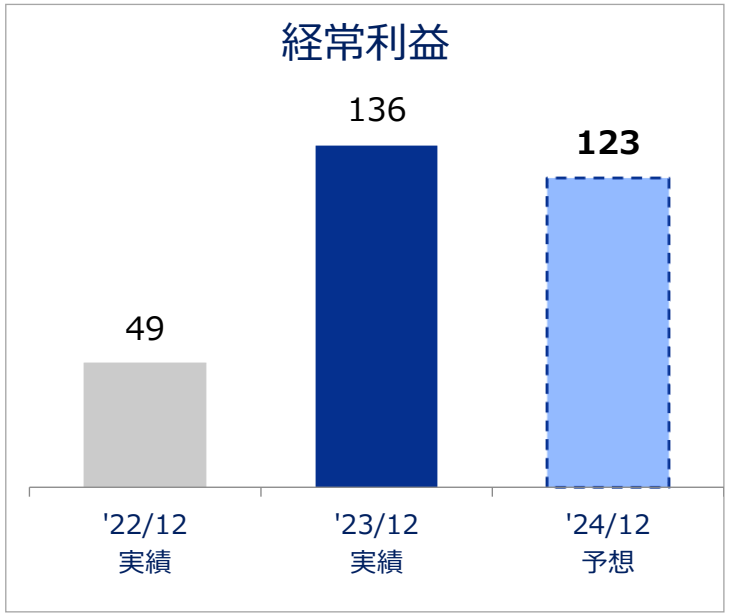
2. 2024年12月期 通期予想

2024年12月期　通期予想

（単位：億円）



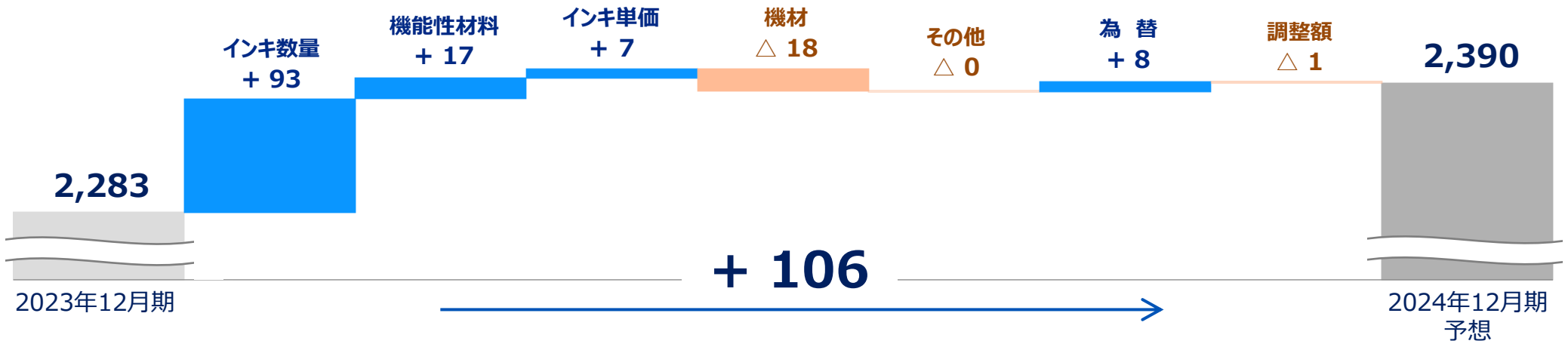




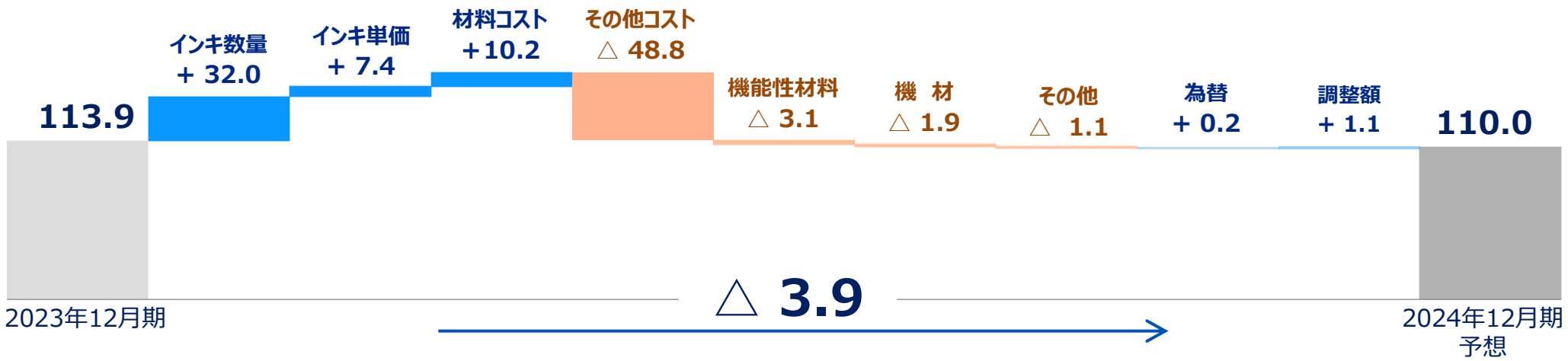
	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期 予想		
	金　額	金　額	金　額	増減額	前期比 (%)
売上高	2,155	2,283	**2,390**	106	4.7
営業利益	41	113	**110**	△3	△3.5
経常利益	49	136	**123**	△13	△9.8
親会社株主に帰属する当期純利益	45	74	**82**	7	9.8
期中レート（USドル）	131.43 円	140.56円	**140.00 円**		

通期予想　要因別増減（前期比）

売上高　（億円）



営業利益　（億円）



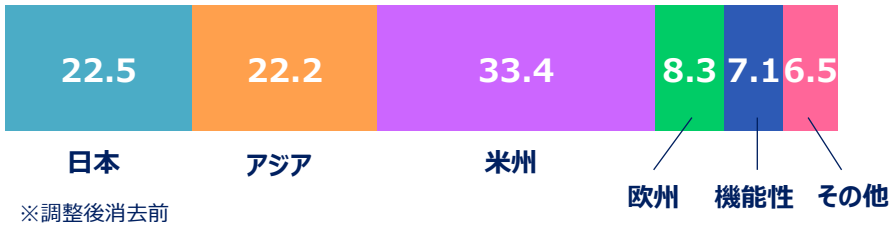
セグメント別 通期業績予想

（単位：億円）

	売上高			営業利益			営業利益率
	2023年12月期	**2024年12月期予想**	前期比（%）	2023年12月期	**2024年12月期予想**	前期比（%）	**2024年12月期予想(%)**
印刷インキ・機材（日本）	521	**531**	2.0	5	**7**	41.0	2.9
印刷インキ（アジア）	524	**563**	7.5	43	**39**	△8.3	7.1
印刷インキ（米州）	785	**807**	2.9	43	**35**	△17.2	4.8
印刷インキ（欧州）	195	**215**	10.0	△7	**0**	–	0.4
機能性材料	168	**185**	10.3	18	**15**	△16.6	8.5
報告セグメント計	2,194	**2,303**	5.0	103	**99**	△3.0	4.8
その他	153	**152**	△0.4	4	**3**	△23.2	2.3
調整額	△64	**△65**	–	6	**6**	–	–
合計	2,283	**2,390**	4.7	113	**110**	△3.6	4.6

セグメント別　売上高構成比

（単位：%）



※調整後消去前

- 全セグメントで拡販を進め増収、欧州は利益改善が進み黒字化
- 日本の新基幹システム導入、アジアの設備投資による経費増加
- 米州で人手不足などに伴う人件費の増加

SAKATA INX

Visual Communication Technology

お問い合わせ先

サカタインクス株式会社　コーポレートコミュニケーション部

電話　03-5689-6601

メール　inx-prir@inx.co.jp